

# 総務文教常任委員会

## 75歳以上の高齢者世帯に火災警報器を設置

8月定例会の総務文教常任委員会では、押印を廃止するための関係条例の改正や令和2年度の決算認定、令和3年度の補正予算について審査されました。補正予算では、旧角館庁舎解体工事関連や空き家対策などが議論されました。

### 令和3年度一般会計補正予算 主な内容

田沢交流センター運営管理費	488万円	田沢交流センター体育館の照明設備の交換（LED化）
公共施設等マネジメント事業費	572万円	旧角館庁舎解体における給水管及びアスベスト処理費の増額
地域公共交通対策費	85万円	内陸線中村踏切の安全対策費（注意喚起の路面カラー塗装等）
危険空き家対策費	200万円	空き家の解体増加による補助金の増額
高齢者世帯火災警報器設置事業費	179万円	火災警報器が未設置の75歳以上の世帯に設置する経費
修学旅行費支援事業費補助金	48万円	コロナ対策による貸切りバス利用の小規模校への補助等
小・中学校保健特別対策事業費	920万円	コロナ感染対策費（マスク、消毒液、パルスオキシメーター等の購入）

**答弁** 現在、工程が遅れているが、11月30日の工期に変更はない。また、火除け地復元調査は、工期に支障を来



■想定以上のアスベスト含有で解体工事費が増額された旧角館庁舎

**旧角館庁舎解体工事について**  
**質問** 旧角館庁舎解体工事は、想定以上のアスベスト処理などで工期は遅れないのか。また、解体工事中に火除け地復元調査を行うようだが、貴重な痕跡が見えられれば工事がストップするのではないか。

ここが知りたい議論のポイント  
 一般会計補正予算の主な質疑

たすような調査ではないことを文化財保護室に確認している。

### 秋田内陸線中村踏切の安全対策について

**質問** 今回の補正予算は、道路に「止まれ」の文字ペイントと、注意喚起のカラー路面塗装を実施することだが、見通しの悪い上り方面の樹木の伐採と空き家の解体は含まれていないのか。

**答弁** 含まれていない。樹木の伐採は事故直後に地元の有志の方々がかなり広く伐採してくれた。内陸縦貫鉄道は、中村踏切への遮断機設置に向けて、来年度の国庫補助事業に手を上げており、採択され

る可能性が高い。その際は仙北市での負担金が想定される。

### 危険空き家対策について

**質問** 最近、荒廃している空き家が多く、中には外壁が剥がれ、家の中のベッドや布団などが丸見えで風雨にさらされている家もあるが、家の中の物を市が処理することはできないか。

**答弁** 家の中の物は財産であり、市が処分することはできない。道路などに飛散した場合は処理している。巡回パトロールを強化し、近隣に迷惑を及ぼしている状況があれば、可能な範囲で対応していく。

### 令和2年度一般会計決算認定審査 総務文教分科会の質疑から

**質問** GIGAスクール構想により、小中学生一人1台のタブレット端末が配備されたが、扱い方に個人差が出てくると思われる。家庭に持ち帰らせて、いつでも親と一緒に練習ができるようにさせてはどうか。

**答弁** 昨年度末に試験的に家庭に持ち帰らせてテストしたが、有害サイトを見ってしまう事象が散見された。6月補正で承認された、有害サイトをブロックするフィルタリングソフトのインストールを準備中である。これが整備できれば、家庭への持ち帰りが可能となり、学校閉鎖時や不登校の児童生徒が家庭で使用するなどの幅広い活用が考えられる。

# 市民福祉常任委員会

## 来年4月から法人運営となる角館こども園 譲渡に向けて設備の不具合箇所を修繕

8月定例会の市民福祉常任委員会では、令和3年度一般会計補正予算・令和2年度決算について審査されました。順調に進んでいる新型コロナウイルスワクチン接種に必要な諸経費が計上されました。

### 令和3年度一般会計補正予算 主な内容

せんぼくこまくさプラン事業費	33万円	コロナ禍の経済支援として、生理用品を一般市民向けに無償配布する費用
ひとり親家庭福祉事業費	150万円	仙北市ひとり親家庭等住宅整備資金貸付の費用
認可保育園等管理費	147万円	中川保育園職員室床修繕、角館こども園設備不具合箇所の修繕費用
保育園入所待機児童等支援事業費補助金	15万円	認可保育園待機児童の解消を図るための補助金
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	195万円	ワクチン接種にかかる消耗品費と予防衣の費用

### 令和2年度病院事業会計決算を認定 厳しい病院経営を議論

**賛成討論** 市立田沢湖病院は、医師1名の増が入院患者や受け入れ増加に繋がり、市立角館総合病院は医師の減が収益減に繋がっている。医師の充足が課題である。両病院とも不採算地区の病院指定により、特別交付税措置の新設や拡充、元利償還金の減少があり、一時借入金も減少している。両病院合わせて、一般会計からの繰り入れ10億9千万円、交付税参入が7億7千万円、純繰り入れは約3億2千万円である。

一般会計からの繰り入れ減少に更なる改善を求める。

コロナ感染症対応として、発熱外来の開設、コロナ患者の受け入れ、検査治療等実施している医療従事者の皆さんの、感染不安と対峙しながらの対応に感謝と敬意を表する。

経営安定に向けた取り組みに今後も期待したい。



■医師の充足が大きな課題の角館総合病院

### 令和2年度 市立病院事業決算

(単位：千円)

	角館病院	田沢湖病院	合計
医業収益	2,856,476	635,017	3,491,493
医業費用	3,735,276	862,962	4,598,238
<b>医業利益</b>	<b>-878,800</b>	<b>-227,944</b>	<b>-1,106,745</b>
医業外収益	567,451	284,173	851,624
医業外費用	144,156	38,915	183,071
<b>経常利益</b>	<b>-455,505</b>	17,313	<b>-438,192</b>
特別利益	92,415	5,673	98,088
特別損失	66,700	4,450	71,150
<b>純損益</b>	<b>-429,790</b>	18,536	<b>-411,254</b>

一般会計補正予算の主な質疑

ここが知りたい  
議論のポイント

せんぼくこまくさプラン  
事業費について

質問 125人分を想定しているようだが、カード交付者はすでに114人となっている。今後、さらに増えるのである。

質問 ひとり親家庭福祉事業費について  
償還はどのようになるのか。

回答 貸付けの利率は、年0.1%で、年2回の見直しがある。所得税非課税世帯は無利

はないか。また、種類は1種類のみか。  
回答 増える可能性はあると思う。現在は、羽根つき22個入の1種類である。

保育園入所待機児童等  
支援事業費補助金について

質問 待機児童は何人か、対象となる児童の年齢は。認可保育園での受け入れはできないのか。

回答 0歳児1名である。今のところ空きがない。

子である。償還期間は据え置き期間が1年以内、経過後9年以内と規定されている。

# 産業建設常任委員会

## コロナ経済支援！「仙北市プレミアム宿泊券」第2弾発行！！

8月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和3年度一般会計補正予算や令和2年度一般会計歳入歳出決算認定及び令和2年度の温泉・水道・下水道事業決算について審査されました。補正予算では、今冬期の除雪関連経費が計上されました。

### 令和3年度一般会計補正予算 主な内容

低コスト技術等導入支援事業費補助金	5,325万円	スマート技術等を活用した省人化、低コスト化への機械設備の導入支援
農地集積加速化基盤整備事業費	1億1,166万円	生保内南地区中心経営体の農地集積促進に対する交付金
2021 仙北市プレミアム宿泊支援事業費	1,076万円	県民を対象に市内宿泊施設の値引券を発行する事業
雪寒地域建設機械整備費	△6,141万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
道路新設改良費	△1億2,023万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
冬期交通対策費	4億3,178万円	冬期間における道路の除排雪関連費用

### ここが知りたい 議論のポイント

#### 一般会計補正予算の主な質疑

#### 低コスト技術等導入支援事業について

**質問** 補助率50%で市内3法人が対象とのことだが、ほかに要望する法人はなかったのか

**答弁** 当初は5法人であったが、補助要綱の条件を満たした法人が3法人である。なお、この予算は、県への要望額であり、交付決定を受けているものではない。

#### 2021 仙北市プレミアム宿泊支援事業について

**質問** 県民割との併用は可能か又、県との連携はどうなっているか。

**答弁** 現在稼働している県民割との併用は可能である。秋冬以降の県の観光施策については、県の観光振興課、観光戦略課とも情報交換を行っている。

#### 社会資本整備総合交付金について

**質問** 減額補正額が大きく、事業に支障をきたしているのではないか。減額に対する対応策はないのか。

**答弁** この交付金事業は配分率が低く、予算編成には苦慮している。当該交付金により進めている事業において、住民の皆さんが期待するスピードで事業を進めることができない実情にある。しかし配分率が高い年度もあることから、予算要求は継続して行っている実情である。財源確保のため、今後も予算要求は継続することをご理解願いたい。

### 令和2年度 公営企業会計決算認定の主な質疑

#### 温泉事業

**質問** 温泉使用料減額に向けた取り組みはどうなっているか。

**答弁** 塚本総業所有の水沢源泉からの温泉購入に伴う温泉使用料の減額については「検討させて頂く」との回答を頂いたものの、こちらが期待する改善には至っていない状況が続いている。

#### 水道事業

**質問** 給水原価が前年度より上がった要因、将来人口を含む予測及び事業経営のあり方はどうなっているか。

**答弁** 給水原価上昇の要因は各業務委託費及び人件費の上昇である。将来人口は緩やかに減少する見込で厳しい経営状況が続く。今後水道運営審議会にて検討して頂き適正料金について来年度中の改定へ向け取り組んでいる。

#### 下水道事業

**質問** 繰入金が多くなっている状況を改善する抜本的な今後の方針はどうなっているか。

**答弁** 下水道事業は設備投資に多くの経費を要する事業である。全国的な月使用料平均が3,000円/20㎡で仙北市は2,500円/20㎡である。この使用料を実態に即して適正化する必要がある。現在、コンサルタントに依頼し検討している。その検討に基づく対応により一般会計からの繰り入れを少なくし収支の改善に努めたい。

### 令和2年度 特別会計及び公営企業会計決算認定される

(単位：千円)

会計名	事業名	収入	支出	収支差引額	企業債残高
公営企業会計	温泉事業	58,222	53,489	4,733	113,958
	水道事業	473,886	585,026	-111,140	3,623,287
	下水道事業	885,660	911,761	-26,101	6,317,681